

平成 22 年 5 月 19 日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
コレクションディレクター 松浦 啓一
NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク
理事長 山西 良平

第 15 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について(案内)

平素、自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。さて、第15 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり開催いたします。今回は、国立科学博物館で開催します。

標本のデータベース化は多くの博物館で着実に進んでいますが、その一方でデータベース化されていない標本が大量に存在するという現実があります。データベース化されていない標本情報を博物館外に発信することができれば、研究者をはじめとした多くの人たちの役に立ちます。そこで、標本のメタデータベースに関する検討を行いたいと思います。

また、標本情報をデータベース化する際に自然地名が問題となります。自然地名のデータベースについて紹介してもらい、自然地名をめぐる課題について検討したいと思います。さらに、学芸員・研究員のデータベースの紹介や東日本の自治体博物館における標本データベース化に関する講演も行います。ご参加いただける場合は、6 月 7(月)までにメールまたは FAX で下記担当までご連絡ください。

記

日時： 平成 22 年 6 月 11 日(金) 13 時 30 分 ～ 16 時

場所： 国立科学博物館・日本館(上野) 4 階大会議室

主催： 国立科学博物館

共催： NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件の内容に関する問い合わせ先：
国立科学博物館研究推進課
係長：所 真次
TEL:03-5332-7185 FAX:03-3364-7104
E-mail: tokoro@kahaku.go.jp

プログラム

13:30 開会挨拶 松浦 啓一（国立科学博物館）

13:40 自然史系博物館のメタデータベース構築の提案 松浦啓一（国立科学博物館）

各博物館の多くの標本は依然としてデータベース化されていない。このため外部から見ると、どのような標本がどの博物館に所蔵されているか分からない。このような状況を改善するために、各博物館の標本に関するメタデータベースを作成して、S-net 上に公開することを提案したい。メタデータベースは標本の概要（上位分類群名、標本の点数、標本の主な採集地などの情報）をエクセルなどに記述することによって作成できる。

14:10 自然地名辞書をめぐる課題 三橋弘宗（人と自然の博物館）

標本情報をデータベース化する際に自然地名が問題となる。住所表記と異なり、自然地名の表記は標準化されていない。自然地名辞書作成をめぐる課題について検討する。

14:30 神奈川県立博物館生命の星・地球博物館における標本データベース化の現状と課題

15:10 学芸員・研究員データベースの構築 松浦啓一

自然史系博物館の学芸員・研究員の姿は意外に外部に知られていない。分類学や生物多様性に関わる人材の必要性が指摘されている今日、学芸員・研究員の人材データベースを構築すれば、博物館の存在意義を社会に訴えることができる。6月末の公開を予定しているデータベースを紹介する。

15:30 総合討論

15:55 閉会挨拶 NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

会場案内

国立科学博物館

所在地 〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

会場：日本館4階 大会議室

※ご来館の際は「職員用通用口」からお入りください。

国立科学博物館 職員用通用口
こちらからお入りください

